

# 海況予測システムFRA-JCOPE

水産総合研究センター 中央水産研究所

## 数値漁海況予測の実現と水産資源変動要因の解明に向けて

FRA-JCOPEでは日本周辺の太平洋域の水温、塩分、流れをスーパーコンピュータを利用して推定・予測し、出力は、マイワシ、カタクチイワシ、マサバ、サンマなどの漁場予測、大型クラゲなどの有害生物の来遊予測、水産資源の変動要因の解明に活用されます。

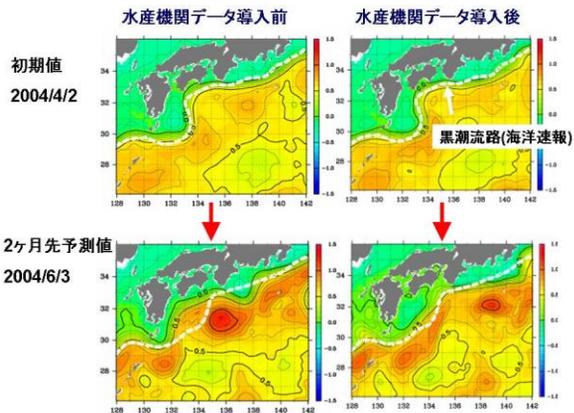


図1. 本州南方には黒潮が流れていますが、各種観測データをもとに推定された黒潮流路(海上保安庁「海洋速報」と比較すると、FRA-JCOPEは2ヶ月先まで黒潮の流路をほぼ正確に予測していることが分かります。

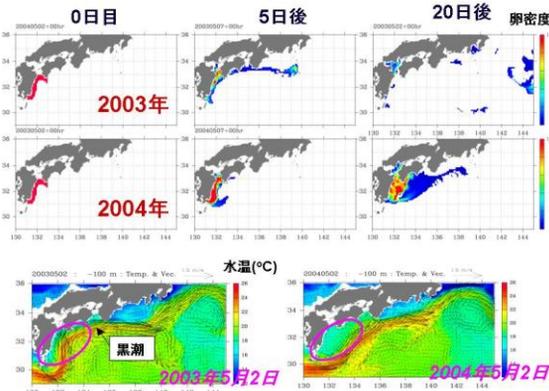


図2.カタクチイワシ卵仔稚魚の輸送実験。2003年は5月に黒潮が九州より流れていたので卵の大半が黒潮に乗って東へ輸送されましたが、2004年は黒潮が九州から離れて流れており、卵はしばらく九州沖にとどまっていたことが分かります。

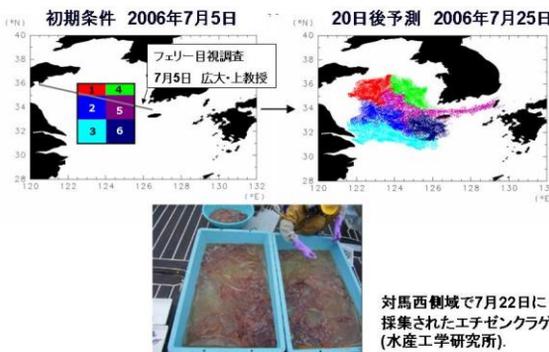


図3.エチゼンクラゲの来遊予測。20日後の7月25日にクラゲの先端群が対馬西岸域に達すると予測しました。7月21-24日の調査で対馬西岸域で最初の出現を確認し、予測はほぼ的中しました。

### 利用状況

都道府県、大学、一般(プロバイダ)、農水所管  
独法から月平均約190件のアクセスがある。

計算資源：大規模演算サーバ

バーチャルラボシステム

衛星データ (NOAA)